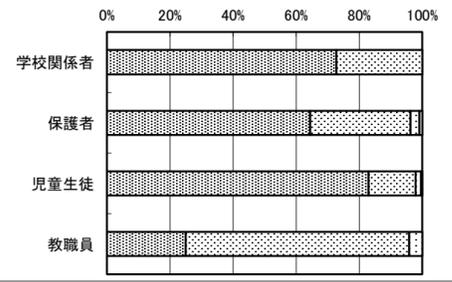
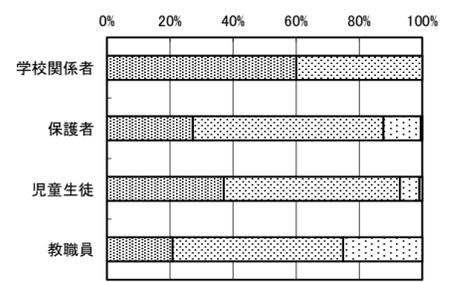
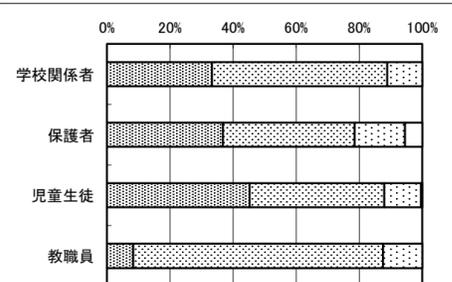
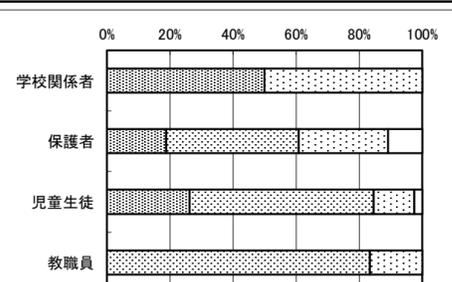
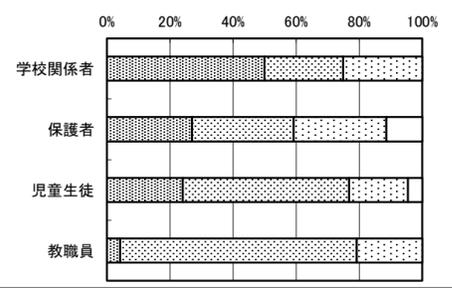
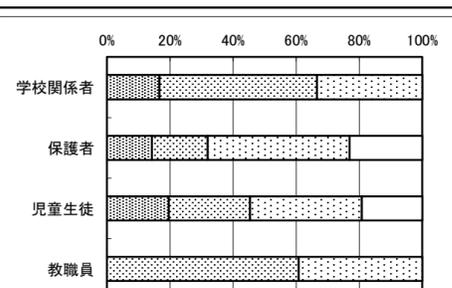
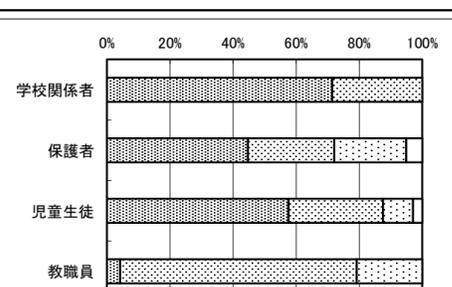
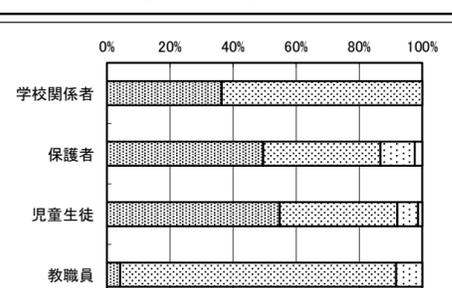


<p>1 家族地域へのあいさつ等</p> <p>生徒は、家族や地域の方に対するあいさつや場に応じた言葉遣いができている。</p> <table border="1"> <caption>調査結果: 家族地域へのあいさつ等</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>75%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	割合 (%)	学校関係者	93%	保護者	94%	児童生徒	98%	教職員	75%	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が98%、保護者が94%、学校関係者が93%と家族や地域の方にあいさつを行っているという回答。 ▲教職員が75%となっており、教職員が厳しい評価を示している。 ◇「あいさつが飛び交う〇〇中校区」等をキャッチフレーズとした「あいさつの向上」を市教委、教育事務所からも今年度の重点項目として挙げてある。引き続き生徒朝会等で生徒会あるいは担当職員等での継続的な呼びかけやと強化週間(月間)等の取組も必要である。</p>
対象者	割合 (%)										
学校関係者	93%										
保護者	94%										
児童生徒	98%										
教職員	75%										
<p>2 稜南中の誇り</p> <p>生徒は、稜南中に誇りを持っている。</p> <table border="1"> <caption>調査結果: 稜南中の誇り</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>92%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	割合 (%)	学校関係者	92%	保護者	89%	児童生徒	92%	教職員	92%	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が92%、保護者が89%、学校関係者が92%と生徒は稜南中に誇りを持っているという回答。 ▲教職員は、92%となっており、R1上期と比較して8%低下している。 ◇「稜南プライドを持ち、信頼される生徒の育成」に向けて、生徒会活動(各委員会活動)で各委員会ごとに生徒が主体となって取り組む「稜南プライド向上」に向けた活動1つ設定するなどして生徒の意識をさらに高められるとよい。</p>
対象者	割合 (%)										
学校関係者	92%										
保護者	89%										
児童生徒	92%										
教職員	92%										
<p>3 交通ルールを守り登下校</p> <p>生徒は、交通ルールを守り登下校できている。</p> <table border="1"> <caption>調査結果: 交通ルールを守り登下校</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>63%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	割合 (%)	学校関係者	100%	保護者	97%	児童生徒	98%	教職員	63%	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が98%、保護者が97%、学校関係者が100%と生徒は交通ルールを守り登校できているという回答。 ▲教職員は、63%となっており、「不十分な部分もある」という評価である。R1上期と比較して16%低下している。 ◇登校時もそうだが、より集団となる下校時の交通指導については、部活動終了時等の継続的な指導や全校集会等の機会での担当からの定期的な発信を継続する中で「交通ルールの徹底」を図っていくことが求められる。特に、稜南坂でのスピードの出し過ぎや並進については校内放送等を活用し、定期的に意識させる必要がある。</p>
対象者	割合 (%)										
学校関係者	100%										
保護者	97%										
児童生徒	98%										
教職員	63%										
<p>4 自分の命や人権</p> <p>生徒は、自分の命や人権を大切にしている。</p> <table border="1"> <caption>調査結果: 自分の命や人権</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>99%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	割合 (%)	学校関係者	100%	保護者	98%	児童生徒	99%	教職員	100%	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が99%、保護者が98%、学校関係者が100%と生徒は自分の命や人権を大切にしているという回答。 ○教職員は、100%となっている。 ◇自分の人権を大切にすることと同じように他の人の人権も大切にしていける実践力が必要である。何気ない言動の中にも「人権感覚」に欠ける部分が見られる生徒もまだ少なくない。人権意識の高揚等に向けて、教師自身が模範となるとともにSSTの学びを授業や日常生活に生かしていく手立てを今後検討していく必要がある。</p>
対象者	割合 (%)										
学校関係者	100%										
保護者	98%										
児童生徒	99%										
教職員	100%										

<p>5 友達と仲良く</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、友達と仲良く生活することができている。</p>	<p>○生徒が98%、保護者が96%、学校関係者が100%と生徒は友達と仲良く生活することができていると回答。</p>																				
 <table border="1" data-bbox="241 474 693 756"> <caption>友達と仲良く (学校からの割合)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>96</td> <td>0</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98</td> <td>0</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>96</td> <td>0</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	96	0	96	児童生徒	98	0	98	教職員	96	0	96	<p>▲教職員は、96%となっており、R1上期と比較して4%低下している。 ◇友達への言動等においても、いじめにつながる部分はないか等、常にアンテナを高くしておくことは、今後とも大事にしなければならない。未然防止、早期対応の視点で日常的な指導の充実を生徒指導担当を中心に組織的に図っていく必要がある。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	96	0	96																		
児童生徒	98	0	98																		
教職員	96	0	96																		
<p>6 環境づくり</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、美しい学校づくりに努めている。</p>	<p>○生徒が93%、保護者が88%、学校関係者が100%と生徒は美しい学校づくりに努めていると回答。</p>																				
 <table border="1" data-bbox="241 923 693 1205"> <caption>環境づくり (学校からの割合)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88</td> <td>0</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>93</td> <td>0</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>75</td> <td>0</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	88	0	88	児童生徒	93	0	93	教職員	75	0	75	<p>▲教職員は、75%である。 ◇担当の先生の方で、掃除前のすばやい移動の呼びかけ放送等もしていただいているが、生徒自身の勤労意欲やどこをどのようにきれいにすべきかのアイデアが持てるように全体として生徒を育てていく必要がある。生徒会の環境委員会等の活動の1つの大きな柱として取り組んでいってもらえるとよい。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	88	0	88																		
児童生徒	93	0	93																		
教職員	75	0	75																		
<p>7 学習への取り組み</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、学校での学習に励んでいる。</p>	<p>○生徒が88%、保護者が79%、学校関係者が89%と生徒は学校での学習に励んでいると回答。▲生徒評価がR1上期と比べて5%低下している。</p>																				
 <table border="1" data-bbox="241 1371 693 1653"> <caption>学習への取り組み (学校からの割合)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>89</td> <td>0</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>79</td> <td>0</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>88</td> <td>0</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>88</td> <td>0</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	89	0	89	保護者	79	0	79	児童生徒	88	0	88	教職員	88	0	88	<p>○教職員は、88%である。 ◇「より主体的に学習に取り組める」ように「意欲を高める手立て」、「主体的な活動を促す指導法」等について校内研修等を中心に組織として今後も取り組んでいく必要がある。家庭学習についても授業と連動した課題提示等検討の必要がある。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	89	0	89																		
保護者	79	0	79																		
児童生徒	88	0	88																		
教職員	88	0	88																		
<p>8 学習の理解</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、授業がよく分かっている。</p>	<p>○生徒が85%、保護者が61%、学校関係者が50%が生徒は授業がよくわかっていると回答。</p>																				
 <table border="1" data-bbox="241 1819 693 2101"> <caption>学習の理解 (学校からの割合)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>61</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>85</td> <td>0</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>83</td> <td>0</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	50	0	50	保護者	61	0	61	児童生徒	85	0	85	教職員	83	0	83	<p>○教職員は、83%であり、R1上期と比較して8%向上している。 ◇学校関係者評価が一番低くなっている。「分かる授業」を期待されている。校内研修で取り組んでいる「分かる授業の5つのポイント」や「活動ある学習形態の工夫」等を意識した授業改善に努め、授業力向上を学校全体で今後も取り組んでいく必要がある。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	50	0	50																		
保護者	61	0	61																		
児童生徒	85	0	85																		
教職員	83	0	83																		

<p>9 家庭学習（予習復習）</p>	<p>学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p>																				
<p>生徒は、家庭学習（予習や復習）に取り組んでいる。</p>  <table border="1" data-bbox="241 498 693 786"> <caption>家庭学習（予習復習）の割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>75%</td> <td>0%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>59%</td> <td>0%</td> <td>59%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>77%</td> <td>0%</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>79%</td> <td>0%</td> <td>79%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	合計	学校関係者	75%	0%	75%	保護者	59%	0%	59%	児童生徒	77%	0%	77%	教職員	79%	0%	79%	<p>○生徒が77%、保護者が59%、学校関係者が75%と生徒は家庭学習に取り組んでいると回答。保護者評価ではR1上期と比べて11%の向上である。 ○教職員は、79%である。R1上期と比べて14%向上している。 ◇保護者の評価が一番低くなっている。ご自分のお子さんの取組の様子からそのように判断された結果と思われる。その結果でいくと約半数の生徒の家庭学習の状況が不十分であるという捉え方もできる。このことから家庭学習の質的転換について保護者の方と課題意識を共有しながら校内研修で検討、提案、実践していく必要がある。あわせて「授業」と「家庭学習」をつなぐ「自学タイム」の一層の充実も学校全体で図る必要がある。</p>
対象者	評価4	評価3	合計																		
学校関係者	75%	0%	75%																		
保護者	59%	0%	59%																		
児童生徒	77%	0%	77%																		
教職員	79%	0%	79%																		
<p>10 読書</p>	<p>学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p>																				
<p>生徒は、よく本を読んでいる。</p>  <table border="1" data-bbox="241 934 693 1222"> <caption>読書の割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>67%</td> <td>0%</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>32%</td> <td>0%</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>45%</td> <td>0%</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>61%</td> <td>0%</td> <td>61%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	合計	学校関係者	67%	0%	67%	保護者	32%	0%	32%	児童生徒	45%	0%	45%	教職員	61%	0%	61%	<p>○生徒が45%、保護者が32%、学校関係者が67%と生徒は、よく本を読んでいると回答。 ○教職員は、61%であり、R1上期と比較して41%の向上 ◇朝自習の取組の成果がでてきているが、全項目中の評価が一番低い項目である。デジタル化時代での活字離れにどう対応するか難しい課題であるが、現状では学校としての取組で、活字に触れさせる機会を多くして読書習慣につなげていくことが重要である。また、情報端末の影響も受けているため基本的な生活習慣確立の観点と併せた対策が必要。</p>
対象者	評価4	評価3	合計																		
学校関係者	67%	0%	67%																		
保護者	32%	0%	32%																		
児童生徒	45%	0%	45%																		
教職員	61%	0%	61%																		
<p>11 食に関して</p>	<p>学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p>																				
<p>生徒は、給食や家庭での食事では好き嫌がなく何でも食べている。</p>  <table border="1" data-bbox="241 1386 693 1673"> <caption>食に関しての割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>72%</td> <td>0%</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>88%</td> <td>0%</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>79%</td> <td>0%</td> <td>79%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	合計	学校関係者	100%	0%	100%	保護者	72%	0%	72%	児童生徒	88%	0%	88%	教職員	79%	0%	79%	<p>○生徒が88%、保護者が72%、学校関係者が100%と生徒は、給食や家庭での食事を好き嫌がなく食べていると回答。 ▲教職員は、79%であった。R1上期と比較して5%の減少である。 ◇保護者の評価が一番低いが、家庭での食事での好き嫌いの様子からそう判断された結果と思われる。生徒たちからは、給食では好き嫌がなく食べるようにしているという意識がうかがえるので、食育の啓発活動等を定期的に行う中で、子どもたちの意識をさらに高められるようにしていく必要がある。</p>
対象者	評価4	評価3	合計																		
学校関係者	100%	0%	100%																		
保護者	72%	0%	72%																		
児童生徒	88%	0%	88%																		
教職員	79%	0%	79%																		
<p>12 心身ともに健康な生活</p>	<p>学校から（％は、評価4と評価3の割合）</p>																				
<p>生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができている。</p>  <table border="1" data-bbox="241 1837 693 2125"> <caption>心身ともに健康な生活の割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>87%</td> <td>0%</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>92%</td> <td>0%</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>92%</td> <td>0%</td> <td>92%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	合計	学校関係者	100%	0%	100%	保護者	87%	0%	87%	児童生徒	92%	0%	92%	教職員	92%	0%	92%	<p>○生徒が92%、保護者が87%、学校関係者が100%と生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができていると回答。 ○教職員は、92%である。 ◇生徒、保護者、教職員ともに概ね健康的な生活を送ることができているという評価であるが、心配される状況の生徒もいる。家庭での生活習慣やゲーム依存の課題等も出始めている。規則正しい生活についての家庭への啓発を積極的に行っていく必要がある。</p>
対象者	評価4	評価3	合計																		
学校関係者	100%	0%	100%																		
保護者	87%	0%	87%																		
児童生徒	92%	0%	92%																		
教職員	92%	0%	92%																		

<p>13 運動について</p> <p>生徒は、体育や部活動で体力づくりに取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が88%、保護者が86%、学校関係者が91%と生徒は、体育や部活動で体力づくりに取り組んでいると回答。 ○教職員は、100%であり、生徒や保護者より高い評価である。 ◇生徒、保護者、教職員ともに概ね取り組むことができているという評価であるが、部活動未加入生徒も一定数いることから教科体育やニュースポーツなど全校的な取組を継続していく必要がある。</p>															
<table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <caption>Item 13 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>91</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>86</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>88</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	91	91	保護者	86	86	児童生徒	88	88	教職員	100	100	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	91	91														
保護者	86	86														
児童生徒	88	88														
教職員	100	100														

<p>14 家庭・地域との連携</p> <p>稜南中では、地域と連携した教育活動ができていると思う。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が94%、保護者が94%、学校関係者が92%と稜南中は、地域と連携した教育活動ができていると回答。 ○教職員は、100%である。 ◇コロナの影響で地域との関わりが少なくなってきたが、ハイヤ等の取組の影響が高評価につながっているものと思われる。今後、コミュニティ・スクール協議会の方々の御意見等も伺いながら連携を深めていくようにする。</p>															
<table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <caption>Item 14 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>92</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>94</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	92	92	保護者	94	94	児童生徒	94	94	教職員	100	100	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	92	92														
保護者	94	94														
児童生徒	94	94														
教職員	100	100														

<p>15 学校情報の定期的発信</p> <p>稜南中は、学校だよりや学級通信、ホームページ、学校メール等で情報発信を行っている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が94%、保護者が94%、学校関係者が100%と稜南中は、学校だより、学級通信、HP,学校メール等で情報発信を行っていると回答。 ○教職員は、100%である。 ◇教職員は、可能な情報発信は、概ねできているという評価をしている。今後も積極的な情報発信に努めていただきたい。</p>															
<table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <caption>Item 15 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>94</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	100	保護者	94	94	児童生徒	94	94	教職員	100	100	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	100														
保護者	94	94														
児童生徒	94	94														
教職員	100	100														

<p>16 キャリア教育について</p> <p>生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○生徒が76%、保護者が57%、学校関係者が100%と生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができていると回答。生徒の評価がR1上期と比べて7%低下している。 ○教職員は、75%であり、R1上期と比較して25%低下している ◇コロナウイルス感染症の影響で職場体験等の中止の影響が出てきていると考える。今後、積極的な情報発信や新しいキャリア教育の方法を模索していく必要がある。</p>															
<table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <caption>Item 16 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>76</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>75</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	100	保護者	57	57	児童生徒	76	76	教職員	75	75	
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	100														
保護者	57	57														
児童生徒	76	76														
教職員	75	75														

17	生徒を大切にした教育	学校から(%は、評価4と評価3の割合)
私は生徒を大切にした教育を行っていると思う。		○生徒が94%、保護者が88%、学校関係者が100%と生徒を大切にした教育を行っているという回答。生徒評価でR1上期と比較して9%の向上が見られた。 ○教職員は、100%である。 ◇生徒、保護者と教職員の数値に若干の近いがあることから、受け止め方の違いが生じているものと思われる。一人一人の生徒を大事にした教育を行うことは、学校教育の基本である。そのためにもそれぞれの生徒にしっかり向き合うとともに、指導や助言・支援等をする場合には、それぞれの生徒が指導や助言等のねらいをしっかりと理解できるように丁寧な対応を一層心がけていくようにする必要がある。

18	教師への相談	学校から(%は、評価4と評価3の割合)
私は生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができていると思う。		○生徒が92%、保護者が84%、学校関係者が100%と生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができているという回答。 ○教職員は、88%である。 ◇保護者、生徒の中には「十分でない」と答えているものもあり、うまく相談等ができない生徒への対応及びより丁寧な対応が求められる生徒や事案等について、学年部等の組織としての一人一人に応じた対応について一層心がけていくようにする必要がある。

19	適切な評価評定	学校から(%は、評価4と評価3の割合)
私は、生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評定ができている。		○生徒が98%、保護者が81%、学校関係者が100%と生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評定ができているという回答。 ▲教職員は、88%であり、R1上期評価と比較して8%低下している。 ◇保護者の方の評価はやや低い状況にある。その背景には、評価・評定の適切さも含めて、学力面で十分伸ばしてもらっているのかとの思いもあると捉える必要がある。今後とも適切な評価とともに、一人一人の学力向上につながる指導と評価の一体化に向けて、校内研修を中心に学校全体で授業力向上を一層図るようにする。また、評価の仕方の公表も必要である。